

赤ちゃんの目を見てみよう！

生後1か月児健診を受けるお子さんの保護者の方々へ

生まれたての赤ちゃんの目は、まだぼんやりとしか見えていません。しかし外からの刺激に対して赤ちゃんの目や脳はとてもよく反応し、発達していきます。もし、目の病気などにより、その大切な刺激がうまく届かないと、目の発達が止まってしまい、一生視力がのびなくなってしまうのです。

そのため、早く見つけて治療することが重要です。

赤ちゃんの目をよく観察して、気になるサインがあれば

早めに眼科へ！



◎生後1か月で見つきたい目の病気

せんてんはくないしょう

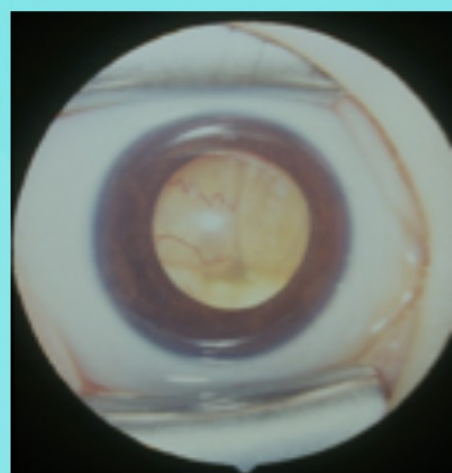
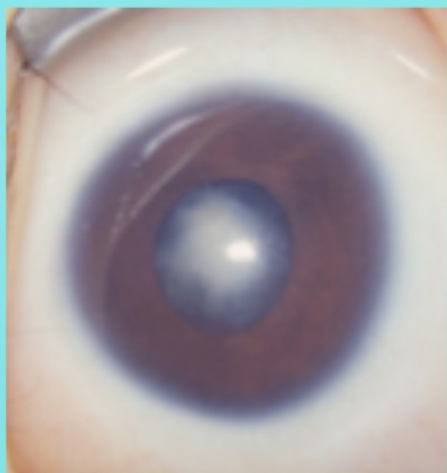
先天白内障

せんてんりよくないしょう

先天緑内障

もうまくがさいぼうしゅ

網膜芽細胞腫



◎以下のサインがあれば、できるだけ早く眼科へ受診を！

- ☐ 瞳が白く見えたり、光って見えることがある
- ☐ 黒目が白く濁って見えることがある
- ☐ 目の大きさや形がおかしい

※遺伝による目の病気がある場合もあります。

子どもの頃に白内障、緑内障、網膜剥離、網膜芽細胞腫などの目の病気になったご家族やご親戚がおられる場合、できるだけ早めに眼科を受診して、精密検査を受けてください。

